

# かすみがうら市産「ふくまる」のブランド化について

「ふくまる」は茨城県で育成した早生品種で、大粒、良食米で炊飯適性に優れており「コシヒカリ」より多収であることから、県下全域を対象に普及拡大を推進しています。市農業再生協議会では、作付拡大に率先して取り組むことで、地域ブランド米を目指していきます。

市では、飼料用米に対する助成金をH30年産米以降、多収性専用品種に一本化(主食米を飼料用として出荷する場合の助成はH29年産米まで)する一方、多様な米づくりを支援する方針

## 背景

茨城県では、オリジナル水稻新品種としてH25年度から推進。主に業務用として取り扱われたことにより、取引価格が安値に抑えられてきたが、H28年度から生産者登録制度の導入とともに、消費者向け販売に取り組む方針

### －作付拡大の推進－

- (1) 作付支援事業(H29～)
- 助成要件: ふくまる推進協議会に生産者登録すること。
  - 助成額: 10aあたり15,000円

- (2) 種子等購入助成事業
- 市穀物改良協会から種子や苗(苗は種子代相当額)購入額の1/2を助成。

### －積極的な販促活動－

- (1) プレミアム米の販売(H28.9～)
- JA土浦直売所・市内3店舗において、調整網目2mm・玄米タンパク質含量6.5%以下・水分換算15%以下で区分集荷した市産の「プレミアムふくまる(新米)」を数量限定で販売する。また、併せて市内の集荷業者や小売店、商工会等と連携し、取扱い数量を伸ばしていく。

- (2) 市内外のまつり・イベント等でのPR
- かすみがうら祭りや市外のイベントで試食等を実施し食味をアピール。

### －ブランド力の強化－

- (1) デザイン等委託
- ※地域オリジナル米の確立に係るコンセプトの発案やデザイン制作
- (2) 知的財産制度の登録
- (3) PR用品の作成
- ※のぼり、ポスター、チラシ等
- (4) 出荷袋・シール等作成

付加価値の高いかすみがうら市産オリジナル米の確立